

「確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む皆川の教育」

学校経営方針

- 1 教職員としての自覚と責任のもとサービスの厳正に努め、互いに磨き合い同僚性を高めながら、サービスの円滑な遂行に努める。〈教職員の心構え〉
- 2 校務分掌や行事等ではプロジェクトチームを編成し、組織的な連携を図り、迅速・的確な対応に取り組むと共に安全安心な学校づくりに努める。〈教職員の協働体制〉
- 3 学習における指導方法・形態の工夫や家庭学習の習慣化を推進し、情報活用能力を育成しながら、生徒の学力向上に努める。〈確かな学力の育成〉
- 4 豊かな心を育てるために、きまりを守りマナーを大切にする態度や、相手を思いやり共感・共生できる心や態度の育成に努める。〈豊かな心の育成〉
- 5 心身ともに健康でたくましく、しなやかに生き抜く生徒の育成のために、生徒一人一人に応じた指導の充実に努める。〈健やかな体の育成〉
- 6 小中一貫教育・特別支援学校との連携を推進し、豊かな人間性とコミュニケーション能力を身に付けた生徒の育成に努める。〈皆川中ならではの教育①〉
- 7 地域の教育力を活かして、地域と共に歩む学校づくりを展開し、地域に開かれた郷土愛に満ちた学校の推進に努める。〈皆川中ならではの教育②〉

栃木市教育の基本理念

『希望に向かい 伸び伸びと個性を發揮し 互いに認め合いながら  
より良い社会を築いていく「とちぎ愛」に満ちた人を育てます！』

学校教育目標

自己実現

めざす学校のすがた

- 生徒が生き生きと活動する誇れる学校
- 元気なあいさつではじまる、明るい学校
- 豊かな自然に生まれ潤いのある、美しい学校
- 認め合い支え合い **共生**できる温かい学校
- 学び合い喜び合う、楽しい学校
- 地域や社会と連携する、**郷土愛に満ちた**学校

下都賀地区学校教育共通テーマ

「学ぶ力」「豊かな心」「健やかな体」  
を育む学校づくりの推進

めざす生徒像

- 創意をもってすすんで学ぶ生徒
- 豊かな心で人に貢献する生徒
- たくましい体で強く生きる生徒
- ☆ 皆川地区小中一貫教育で

めざす子ども像

めざす教職員像

- 豊かな教養や専門的な知識・指導力を身に付けた教職員
- 生徒に対する教育的愛情と使命感・責任感をもった教職員
- 健康で、明るく、人間性豊かな教職員

皆川中ならではの教育

- 小中一貫教育・特別支援学校との連携に努め、推進している学校 **(計画的な統合への準備)**
- 地域の教育力を生かし、地域と連携する学校

本校教育推進上の努力点

- 1 生徒にとって安心安全な学校づくりの推進
- 2 主体的・意欲的な学習態度の育成
- 3 豊かな人間性を育む道徳・**人権教育**の推進
- 4 健康でたくましく **生き抜く力**を育む指導の充実
- 5 小中一貫教育・特別支援学校・寺尾中・吹上中との連携
- 6 地域から信頼される学校づくりの推進



▲避難訓練(緊急地震対応)



▲小中合同研修会(学び続ける教職員)



▲3校交流活動(小・中・特支校)



▲部活動激励会(各部の発表)



▲アシストネット(読み聞かせ)



▲皆川わっしょい祭り



▲校外学習(1年)



▲宿泊学習(2年)



▲職場体験学習(2年)



▲修学旅行(3年)



▲学活(良い授業とは)



▲みながわ寺子屋の学び



▲生徒主体の体育祭



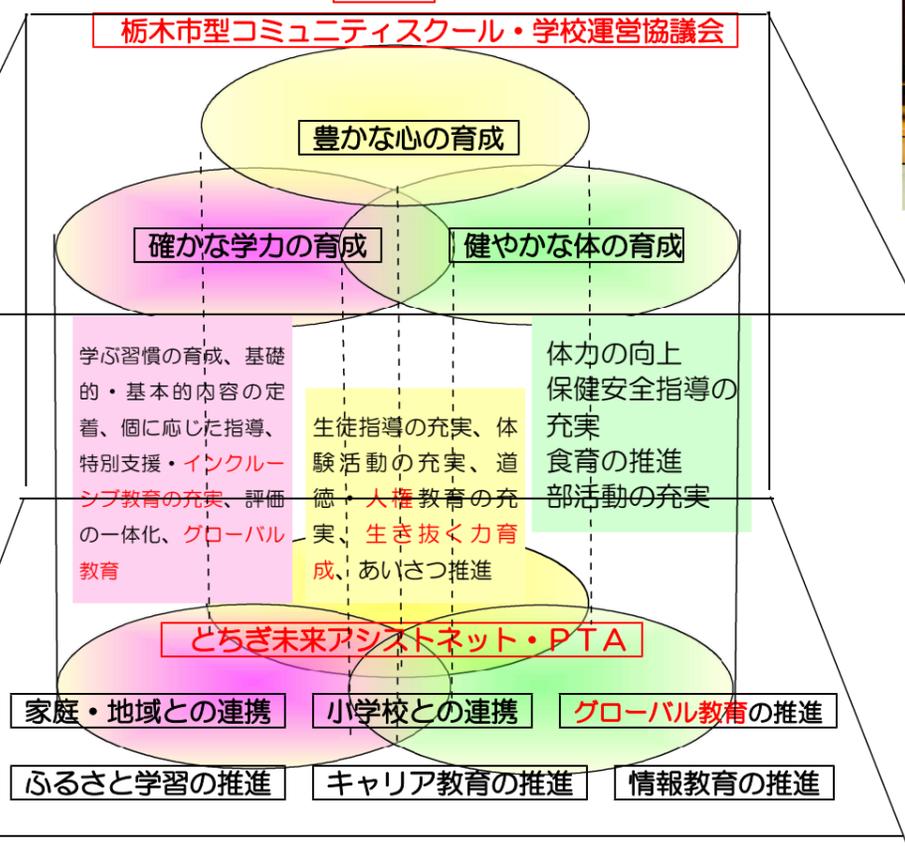
▲皆中祭(全校合唱)



▲あったか皆川いじめ防止集会



▲ロードレース大会



## 令和7年度の学校経営方針

### 1 学校教育目標 自己実現

### 2 学校経営の方針

皆川中の伝統(良さ)を伸ばしつつ、積極性やみんなのために行動できる力を磨き、統合後の北中となる未来(新しい環境)でも、自分の良さを発揮しながら、自分のため、みんなのために行動できる生徒を育成する皆川中最後の1年にする。

- キーワード : 積極性、考える、行動する、未来、チャレンジ、挑戦
- 学校スローガン : 勇破～つないだ思い未来へ翔け～ (生徒会作成)

- (1)生徒が、「自ら考え行動する力」を高められるよう全教育活動を行う。
- (2)教職員は、生徒が考える目的や内容を示し、やってみたいと思わせるよう工夫する。そして、子ども(みんな)の幸せを願い未来のために協働する。
- (3)失敗(間違い)から学ぶ風土を醸成する。
- (4)重点指導事項は「確かな学力の育成(学力向上)」とする。学力向上のためのキーワードは次のとおり。

「生徒は、自ら考え、表現する。」 「教師は、自ら問い、意味を考え、議論する。」

### 3 努力点と具体的内容(下線は前年度との変更点)

#### (1)学校の安心安全の確保と生徒の主体性の育成 **生指**

- ① 健康観察、登下校・給食・清掃指導等を通して、安心安全な学校生活のための規律ある態度を育成する。生徒の実態把握と教職員間の報連相を確実にいき、いじめや不登校を未然防止する。
- ② 災害やメディアネットトラブル等の危険回避のために自ら行動できる生徒を育成する。

#### (2)主体的意欲的な学習態度の育成に努める **学習**

- ① UDの視点に沿った授業(一人一人の考え方を大切にした授業づくり)とUDラボによる習熟状況に応じた指導を実現する。
- ② 発表・発言など積極性を奨励し、間違いであってもそれを活かしそこから学ぶ姿勢を育成する。
- ③ 「学習訓練週間」「学習強調週間」「学習のきまり」「家庭学習」等のねらいを理解させ、学習意欲を高める。
- ④ 「とち介の学び」単元計画から、(生徒向けと教師向けの)的確なねらい、言語活動を設定し、思考・判断・表現をさせ、生きて働く知識技能を習得させる。
- ⑤ 各種評価を授業改善に活かす。(生徒による授業評価、アンケート、学力向上改善プラン、テスト等)
- ⑥ 学習指導要領の趣旨の理解に努め、「学業指導」を推進し集団の存共決を高める。

#### (3)豊かな人間性を育む道徳・人権教育を推進する **学習**他全グループ

- ① 「考え議論する道徳の授業」の実践。自分を大切に、人を思いやり、共感、共生できる心や態度を育成する。
- ② 人権尊重の基盤とした全教育活動の実践に努める。失敗してもやり直せる機会を保障する。
- ③ 自己実現タイムによる振り返りにより成長を見取り、失敗しながら成長する過程を支援する。

#### (4)心身共に健康でたくましく生きる力を育む指導の充実に努める**保安** **特支** **進路**

- ① 多様な生徒の個性を尊重し、適切な支援・指導及び進路指導の充実に努める。
- ② 部活動において、統合に向けて2校と連携に努める。
- ③ 通常学級における特別支援教育の充実に推進し、不登校の未然防止に努める。
- ④ 感染症等の予防に努め、集団の中で自他の健康に留意した行動がとれる生徒を育成する。

#### (5)共生社会実現のための地域内学校連携教育と地域を生かした教育活動の実践

- ① 異校種間での活動を体験させ、共生社会での実践力を身に付ける。(3校交流会・わっしょいまつり等)
- ② 閉校を前に、地域への感謝と郷土愛を育む。

